

市議会
ホームページ

市議会に関する情報はこちらから。




「手をつなぎたくなくなる街 湘南ひらつかです。」

須藤 量久 議員

問 街のさまざまな魅力を発信するシティプロモーションにおけるスローガンの選定理由を伺う。

企画政策部長 本市の強みや魅力といった地域資源を最大限に生かすこと、社会ニーズに合致していること、近隣との差別化が図られることの観点から検討した。「人と人の距離」ということに着目し、それを象徴的に表現するものとして、「手をつなぎ」というキーワードを導き出し、「手をつなぎたくなくなる街 湘南ひらつか」というスローガンを選定した。

問 プロモーションムービーの制作に当たり、ムービーと連携した仕掛けづくりが大切であると考えているが、見解を伺う。

企画政策部長 ムービーは、ユーザーで配信していることを軸に考えている。配信と同時に、ユーザーやフェイスブックなどのウェブ広告による誘導やPRで、情報拡散の仕掛けなど、より多くの再生・視聴の獲得を目指す。

問 スローガンは、とても可愛らしく素敵な表現であるが、インパクトが弱い気がする。例えば、ムービー完成とともに、毎月第1日曜日を「みんなが手をつなぐ日」に制定する。費用が掛からない良い仕掛けであると思うが、見解を伺う。

企画政策部長 提案を含め、あらゆる展開に努めたい。今回、スローガンをもとにフォトキャンペーンを実施したところ、今までの本市のイメージにはないような投稿が多く送られている。このようなものも活用しながら取り組みを進める。

問 七夕まつりや湘南平、ビーチの活用など、スローガンを感ぜられるような仕掛けが必要と考えるが、見解を伺う。

企画政策部長 仕掛けづくりは、重要なことである。七夕や海の魅力アップなど、自然にそのようなイメージを持てる街にしていきたい。何としても本市の魅力を発信してほしいという願いがあがるが、市長のトップとしての決意を伺う。

一五輪教育

問 子供たちにとって、またとない重要な機会である。「平塚版オリンピック・パラリンピック教育」の検討

をすべきと考えるが、見解を伺う。



子ども達に寄り添った 平塚の教育をめざして

黒部 栄三 議員

をすべきと考えるが、見解を伺う。

平塚の学力向上策

問 学力向上に関して何が1番の問題であると認識しているか。

教育指導担当部長 教職員は、学力向上に向け授業改善などさまざまな取り組みを行っている。授業以外のいろいろな業務が忙しく、授業の準備に時間が割けないことが課題である。

問 教職員は、児童・生徒の指導に直接関わる業務以外の業務が多くなってきた。また、新たな教育の課題への対応、多様化するニーズへの対応などもある。教職員の多忙化の解消に向け、徹底した業務改善を行うべきと考えるが、見解を伺う。

教育指導担当部長 教育委員会では、出張や会議を減らすための精選をしてきた。また、成績業務、出欠席管理などができる校務支援システムの導入をしている。しかし、いじめの対応や保護者との連絡・相談、部活動などで長時間労働となっている。現在は、学校代表者などと多忙化解消に向け

と考えている。

と考えていきたい。

問 神明中学校では、教職員がグループを作り、当番制で放課後に子供たちを見取り組みなので、ほかの中学校にも展開したらどうか。

教育指導担当部長 神明中学校では、子供たちが課題を持つため、教職員の準備はない。教職員は、当番制で負担を軽減している。このような工夫により週に複数回の開催ができ、長く続いている。同様の取り組みは、土沢中学校でも行っており、神奈川大学の学生が数学と英語の放課後学習会を行っている。このような特色のある取り組みは、学力・学習状況研究会で他校に周知していく。また、無理があつては教職員の負担を生み、悪循環で長続きしないので、子供たちの実態、状況に合う工夫した取り組みを、各学校に働きかけていきたい。

問 今年度は予算編成の時点で10%をカットした。その影響もあるが、将来平塚を支える子供たちがしっかりと勉強し、確かな学力を身に付ける環境をつくるべく、サン・スタツフも含めマンパワーなど、教育への予算は、しっかりと

市長 今年度は予算編成の時点で10%をカットした。その影響もあるが、将来平塚を支える子供たちがしっかりと勉強し、確かな学力を身に付ける環境をつくるべく、サン・スタツフも含めマンパワーなど、教育への予算は、しっかりと

このほかの質問 中学生ボランティア 健康都市ひらつかの実現を 防犯カメラと街路灯で市民の安心・安全を 障がい者マークについて 地域活動の担い手対策 ジャンボタニシ対策

清風クラブ 所属議員



佐藤 貴子 議員



教田 俊樹 議員



諸伏 清児 議員



坂間 正昭 議員

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

総務経済

議案8案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第61号 平塚市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例

○議案第71号 平塚市農業委員会の選挙による委員定数条例及び平塚市農業委員会の部会の委員定数条例を廃止する条例 (2案件を、一括審査した。)

問 農業委員の資格要件にある認定農業者の定義と人数を伺う。

答 農業経営基盤強化促進基本構想に示された農業経営の普及に向け、農業改善の計画を提出し、市町村に認定された農業者である。市内には、前年度末で222人いる。

○議案第74号 平成28年度平塚市

一般会計補正予算

問 企画費のオリンピック事前キャンプ誘致推進事業で委託料を計上しているが、内容を伺う。

答 リトアニア展や視察受け入れ、事前キャンプ実施の合意に至った場合の調印式やレセプション開催の費用を想定している。

問 電算管理費の電子計算機運用管理事業で、証明書のコンビニ交付のための費用を計上しているが、どのように発行されるのか。

答 利用者は、店舗に設置してあるマルチコピー機から申請する。地方公共団体情報システム機構を経由して申請情報が市に届き、情報に基づいて専用のサーバーから画像データが送信され、偽造防止などの加工をした後、マルチコピー機から発行される。

環境厚生

議案9案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第63号 平塚市幼保連携型認定こども園設置条例

問 市の認定こども園における一時預かり保育料は、何を基に決定したのか。

答 現在の公立保育園の延長保育料と統一性を図り、20分100円と設定した。

○議案第74号 平成28年度平塚市一般会計補正予算

問 老人福祉費の介護保険施設整備等助成事業で、どの地域に、どのような施設ができるのか。

答 補助の対象は、岡崎地区にできる、看護小規模多機能型居宅介護とグループホームを併設する施設である。29年4月1日の開設予定である。

○議案第63号 平塚市幼保連携型認定こども園設置条例

問 児童福祉総務費の児童福祉庶務事業について、購入する遊具とは何か。また、ふるさと寄附金が活用されているのか。

答 地域子育て支援を目的としたふるさと寄附金を活用し、子育て支援センターで使用するままごとセットを購入する。寄附者とも使い道について話をし、決定した。

問 増額補正を行う民間保育所助成事業の内容について伺う。

答 保育士の労働環境の改善や保育環境の充実を目的に、保育業務支援システムの導入と、事故防止のためのビデオカメラの設置について、それぞれ補助金を出す事業である。民間保育所と幼保連携型認定こども園が対象となる。